

見る楽しさ、語る楽しさ、唄う楽しさ、夢をのせ



# 臨時列車

# 市中央線本武総

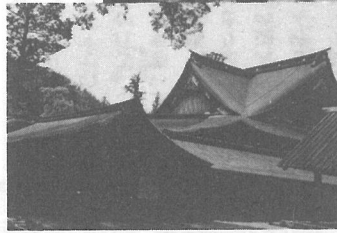
西浦温泉

豊橋

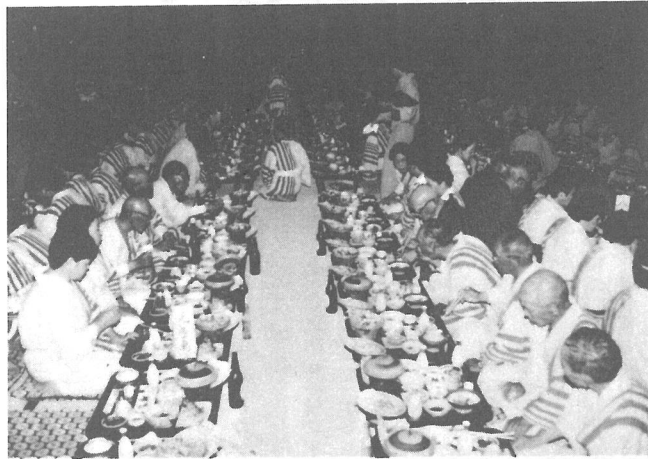
翌十一日は、今回旅行のハイライトである伊勢神宮参りでした。

伊良湖から鳥羽までフェリーで紺青の伊勢湾を渡り、十一時五十分には伊勢神宮に到着。記念撮影後、荘厳なたたずまいの中を、ガイドの案内により内宮から外宮への参拝しました。その後、二見浦（夫婦岩）を見学して、二日目の宿、伊勢湾を一望の下に見おろせる眺望抜群の「鳥羽シーサイドホテル」に到着しました。

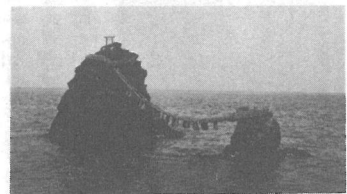
旅の疲れもみせず、この夜も盛りだくさんな内容の宴会を楽しみました。歓迎のクス玉割り、女性参加者三十名が揃いのハッピに身をつつみ、民謡に合わせかわるがわる杵をつく「もちつきショー」（ついた餅は全員に配られました）初日に引続いでのカラオケ・踊り大会と、旅の最後の夜を惜しむように宴は盛りあがりました。



三日間にわたる列車・バスの旅行で互いに顔なじみとなった参加者のみなさんは、すっかり打ちとけて、帰りの列車の中では笑い声が絶えず、全員がおみやげと出で大きくふくらんだ荷物を両手に抱えて、五月十二日午後六時五十五分、横芝に帰ってきました。



臨時列車の旅行という初めての試み、しかも、四百五十人を超える多人数の参加に、主催者の市町村はとまどう面も多かったのですが、幸い、全行程を通じて好天に恵まれ、一人の事故もなく、「本当に楽しい旅行だった」「一生の思い出になります」という声も多く聞かれ、参加者には好評だったようです。



鳥羽

## 列車ならでわの旅



吉岡のぶ (木戸台)

今回の旅行に友人と誘い合って参加しましたが、日常の雑事から開放されて、みんなウキウキと小学生の遠足のように賑かでした。

豊橋駅からは十一台のバスに便乗し、海岸沿いの道を景色を眺めながら宿へ。一部屋に設けられた宴室席は実に壮観でした。

二日目はハイライトのお伊勢様です。私は今回で四度目ですが、いつ来ても一の鳥居をくぐりますと気が引縮り、荘厳なたたずまいに心新たにお参りします。この日は鳥羽泊り、部屋の窓から見た夕日がキラキラと、海面を染めながら沈んで行く様がとても印象的でした。

帰りの車中は思いがけない知人との出会い、幼友達との昔話、観光バスでは味わえないこの旅の良さ等々、来年もと期待することしきりでした。

数かずの行届いた計画、細かい心遣い、親切あふれる今回の旅に、私は関係者の方がたに厚くお礼申し上げます。